

山形銀行「くやまぎん」グリーン定期預金」フレームワーク

1. サステナビリティへの取り組み

当行は、「地域とともに成長発展し、すべてのお客さまにご満足をいただき、行員に安定と機会を与える」という経営理念のもと、事業活動を通じて持続可能な地域社会の実現に取り組んでいます。

2021 年 12 月には、当行グループにおけるサステナビリティを巡る課題への取り組みを一層強化するため、「サステナビリティ方針」および「環境・社会に配慮した投融資方針」を策定しています。

当行グループは、引き続き ESG（環境・社会・ガバナンス）の視点を経営に取り入れ、SDGs（持続可能な開発目標）および気候関連リスクへの対応を強化するとともに、サステナビリティ方針に則り活力ある地域社会づくりに貢献してまいります。

【サステナビリティ方針】

当行グループは、「地域とともに成長発展する」という経営理念のもと、地域の成長に責任を持つ企業として地域の課題解決に真摯に取り組むことで、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

2. くやまぎん」グリーン定期預金の位置づけ

- (1) 当行では、環境・社会・経済の各課題解決に資するもので、サステナビリティにポジティブな影響を与える投融資・リース等を「サステナブルファイナンス」と位置づけ、取り組みを強化しています。
- (2) 「くやまぎん」グリーン定期預金」（以下、「グリーン預金」という）は、当行のサステナビリティ方針において、預金と融資をつなげる形で実践するものです。
- (3) くやまぎん」グリーン定期預金の概要
 - ① 通貨：日本円
 - ② 募集対象：法人
 - ③ 最低預入額：1,000 万円
 - ④ 預入期間：1 年
 - ⑤ 適用利率：大口定期預金金利

3. 調達資金の使途

当行は、グリーン預金を通じて調達した資金を、以下の適格基準を満たすプロジェクト（適格プロジェクト）への新規および既存の融資案件に充当します。調達資金の全部または一部を既存の融資案件に充当する場合、適格プロジェクトの環境改善効果が継続しているかを確認し、遡って 5 年以内に実行された融資案件を対象とします。

カテゴリ	資金使途
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電、地熱発電、バイオマス発電（持続可能な原料または廃棄物由来のものに限る）、小規模水力発電、蓄電池（容量市場、卸電力事業、需給調整市場等の電力市場を活用して電力事業を行う、蓄電池事業に対する融資）

4. 適格プロジェクトの評価とプロセス

（１） 環境面の目標

グリーン預金の環境面の目標は気候変動の緩和です。当行は環境方針を定め、「地域とともに成長発展する」という経営理念のもと、地域社会の一員として企業の社会的責任を果たすべく、持続可能な地域社会の実現に向けた環境保全活動に継続的に取り組んでいます。地域の脱炭素社会実現に向けて、サステナブルファイナンスの実行累計額を 2030 年度までに 5,000 億円と目標を設定するとともに、「2030 年度までにカーボンニュートラル（Scope1・2、ネットゼロ）」の目標を掲げております。

（２） プロジェクト選定における適用基準の適用

適格プロジェクトおよび適格基準の設定および「サステナビリティ方針」および「環境・社会に配慮した投融資方針」に掲げる取組方針との整合性の確認は、本件の所管部である営業企画部法人企画グループにて行います。適格プロジェクトへの融資案件は、融資部が融資審査を実施のうえ、対象融資を所管するストラクチャードファイナンス部において適格性を確認します。選定結果は営業企画部法人企画グループが集計のうえ確認します。

（３） ネガティブインパクト

当行では「環境・社会に配慮した投融資方針」を策定し、環境・社会に対してネガティブな影響を助長する可能性の高い特定セクターへの融資を制限する方針を明確化しています。

5. 調達資金の管理

グリーン預金による調達資金の充当管理は営業企画部法人企画グループが行います。グリーン預金による調達資金総額、使途への充当済資金、未充当資金は、電子ファイルにて管理します。すべての調達資金が充当されるまでの間は、未充当額と充当額の合計が調達資金全額と整合するように整理し、これらの確認はグリーン預金から対象使途への資金充当があった都度実施します。すべてのグリーン預金による調達資金が充当された後は、調達資金額が調達資金から使途へ充当された累計額と一致するよう、また、使途へ充当された累計額が預金資金額を上回るように管理することとします。未充当額が発生した場合には、現金または現金同等物等で運用します。

6. レポートニング

(1) 充当状況のレポートニング

グリーン預金の適格プロジェクトへの充当状況については、以下の項目につき、少なくとも 1 年に 1 回以上、当行の WEB サイトにて開示します。

- ・ グリーン預金残高
- ・ 充当したプロジェクトの内容と融資残高
- ・ 未充当金額

(2) インパクトレポートニング

グリーン預金の残高が存在する限り、以下の指標につき、少なくとも 1 年に 1 回以上、当行の WEB サイトにて開示します。

- ・ CO2 排出削減（見込）効果（t-CO2）

(3) 大きな変化があった場合の対応

大きな状況変化があった場合は、状況を確認したうえで当行の WEB サイトにて開示します。

以上